キャラクター名: ハルナ・ラ・ヴェール

プレイヤー名:

メインクラス	プリースト	**Lv.1:**	アコライト	**レベル**	21
サポートクラス	フォーキャスター	**Lv.1:**	シャーマン	**性別**	♀
称号クラス				**年齢**	20
種族	アーシアン			**境遇**	没落
出自（効果）	秘密結社			**目標**	名誉

	筋力	**器用**	**敏捷**	**知力**	**感知**	**精神**	**幸運**
基本値	9	9	9	36	28	33	9
ボーナス	3	3	3	12	9	11	3
クラス修正	0	1	1	2	1	2	1
他修正							
能力値	3	4	4	14	10	13	4

HP	155
MP	222
フェイト	8

装備品		**射程**	**命中**	**攻撃**	**回避**	**物防**	**魔防**	**行動**	**移動**
右手	ケセドの杖								
左手									
頭部	来訪者の髪飾り						1		
胴部	クルセイダーガーブ				-1	7	2		-1
補助									
装身具	聖戦の紋章								
能力値			4	0	4	0	13	14	8
スキル									
その他									
総計(右)			4	0	3	7	16	14	7 m
総計(左)			4	0					
総計(両)			4	0					
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	10	1		11	+ 3 d
トラップ解除	4	1		5	+ 2 d
危険感知	10	1		11	+ 3 d
エネミー識別	14			14	+ 2 d
アイテム鑑定	14			14	+ 2 d
魔術判定	14			14	+ 3 d
呪歌判定	13			13	+ 3 d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
祝福の花	

現在重量：	6		
最大重量：	28	所持金：	-102510
		預金・借金：	

スキル名	**SL**	**コスト**	**タイミング**	**射程**	**対象**	**判定**	**制限**	**メモ**
アーシアン：転生	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	タイミングがメイキングのアーシアン以外の種族スキルーつを修得。ただし幸運基本値-3							
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果：	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
アストラルボディ	1		パッシブ		自身			
効果：	携帯アイテムの参照数値を精神に							
オプティマイズ	1		パッシブ		自身			
効果：	スキルーつのコストを2下げる							
レイズ	1	10	メジャー	至近	単体	魔術		
効果：	対象が行う判定に＋1D ラウンドの間							
クイックヒール	1		イニシアチブ		自身	自動	シーン1	
効果：	ヒールを使用							
ヒール	1	4	メジャー	20	単体	魔術		
効果：	3D＋CL点回復							
アフェクション	1		ダメージ後	20	単体	自動	シナリオ1回	
効果：	ダメージを0に							
ピアシングペイン	1	15	DR前	20m		自動	ラウンド1	
効果：	攻撃を貫通へ							
ディストラント	1	6	DR前	20m	単体	自動	ラウンド1回	
効果：	攻撃された対象に恐怖							
タングル	1		効果参照			自動	シナリオ1回	
効果：	リアクションのダイスを一個振った後で取り除く							
ディビレデイト	1	6	判定前				シーン1回	
効果：	判定のダイスを一つ取り除く							
ブリッツセンス	1	5	効果参照	至近	単体	自動	シーン1	
効果：	ダイスロール＋1D							
ストラテジウム	1	6	効果参照					
効果：	フォーキャスターのスキルを範囲（選択）							
タクティカルプレイ	7	5	セットアップ		単体	魔術		
効果：	ダメージ＋28							

彼女は死んだ。
具体的に言うと、病死だ。
彼女は元々歌手志望で真剣に頑張っていた矢先、ライブを初めて行った時、心臓麻痺の発作に襲われた。
その結果、病院で死亡した。しかし、彼女の物語はそこから始まった。
彼女が目覚めると、そこには女神がいた。
青髪に空のような蒼眼、名は水の女神アクア様と言った。
そこで、願い事を一つ叶えた上で転生させてくれると言われたのだ。
私が願ったのは「健康」、心臓麻痺で死亡するような形では終わりたくなかったからだ。
その願いの元に転生すると、私は、泉になっていた。
文字通りだ。そこにはいっぱいの人がいた。
しかし、泉になったから死なないから健康だと考えた。中途半端で終わることはなくなったのだ。
そして、泉の中で集中すると、ピカッと光り、その中から身体が出た。
そこで初めて私は住民と話す。
彼らの街は水と温泉の都アルカンレティアにあり、そこでアクシズ教団を元にして暮らしているという。
モンスターには襲われない村と言うことだが、水の女神アクア様に仕える組織だと言う。
その教えの中で、「アクシズ教徒はやればできる。できる子達なのだから、上手くいかなくてもそれはあなたのせいじゃない。上手くいかないのは世間がわるい」が確かにと思った。何故なら頑張っても自分の身体のせいで上手くいかなかったのだからだ。ライブもまだ早く世間が認めていれば私は人気になれたのだ。とそこで彼女はアクシズ教団に入った。しかし、彼女自身は人を癒やすと言うことと人を呪うという事の両方が得意だった。
何せ、ライブを取れた理由が他の人を脅したりもしたためだった。夢のためだ。言い訳もしない。
しかし、夢を掴み取れなかった事により、その人達の分も幸せになりたかったという考えもあった。
なら、その人達の分、みんなを幸せにしよう。そう思いアコライトになった。
しかし、呪いの力も知らず知らずの内に高まっていった。

キャラクター名
ハルナ・ラ・ヴェール

プレイヤー名

所持品			

キャラクター名
ハルナ・ラ・ヴェール

プレイヤー名

所持品			